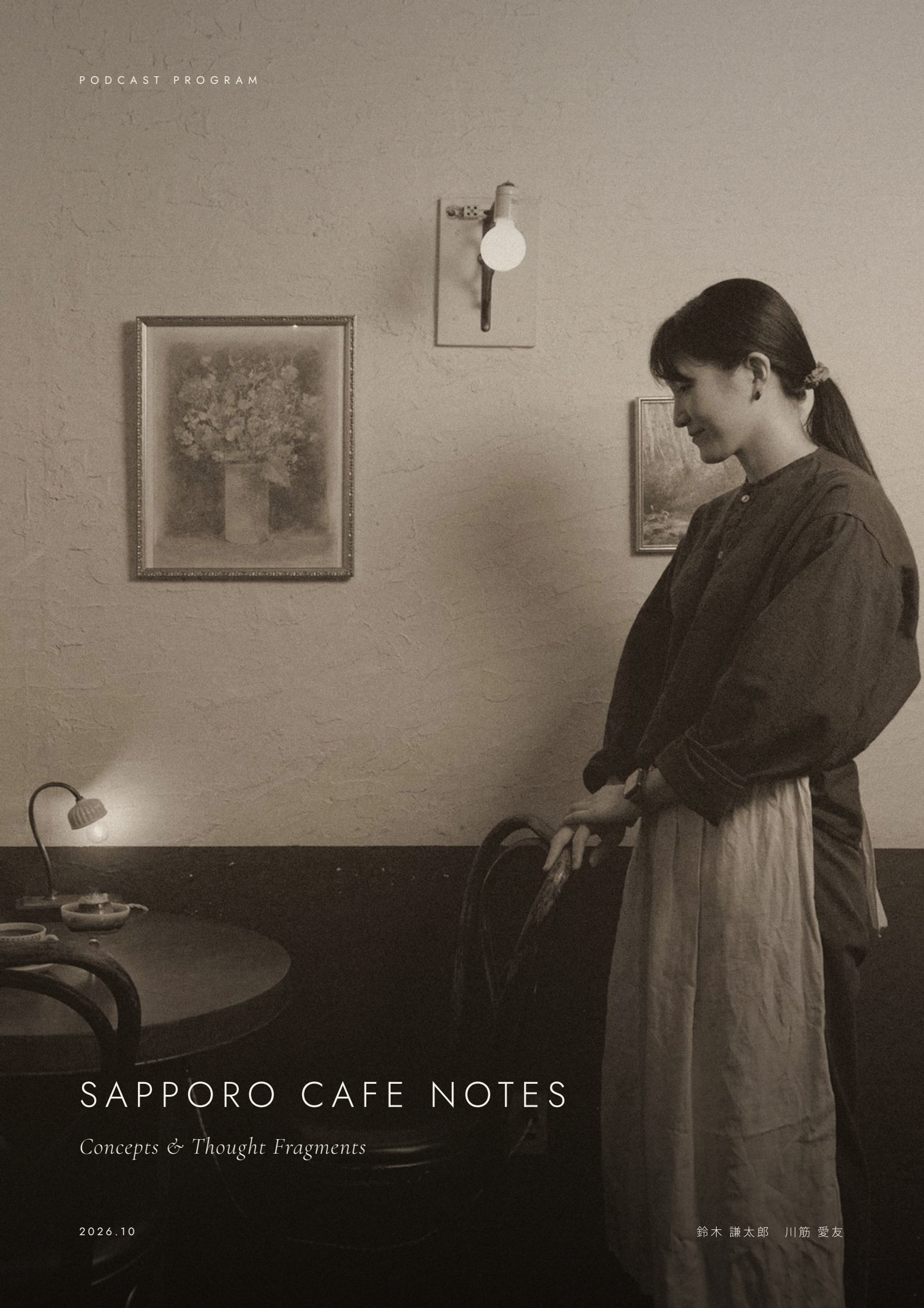


PODCAST PROGRAM



SAPPORO CAFE NOTES

Concepts & Thought Fragments

2026.10

鈴木 謙太郎 川筋 愛友

00 CONCEPT

A note on the air of the counter.

札幌を起点に、カフェのカウンターの空気を記録するPodcast番組。

日々交わされる会話には、コーヒーの話だけでなく、街の変化、人の営み、時代の空気が滲み出します。

アンティークの家具とオーセンティックなジャズが流れる店内で、映像ディレクターとカフェ店主が交わす、ありのままのよろず話。

これは、札幌のカフェ文化をアーカイブしていくための「ノート」です。





01 REGULAR CAST

Two voices, one counter.

KENTARO SUZUKI

鈴木 謙太郎

映像ディレクター。

気まぐれな街の変化や人々の心象風景を記録し続けている。

AIYU KAWASUJI

川筋 愛友

ネルドリップ店「枯淡珈琲」店主。

アトリエ森彦での経験を経て独立。カウンター越しに訪れる人々と対話を重ねる。

02 EPISODES

Vol.01 — 09

カウンターで交わした対話の記録。
2026年2月から、隔週で積み重ねています。

VOL.	女性オーナー達言いたいこと・聞きたいこと	02.15
01	kissa kondo、韓国チキンJigumチグム（ボイスメッセージ） 札幌の女性カフェオーナーから寄せられたボイスメッセージ。休日、仕込み時間、コーヒーへのこだわりなど、同業者だからこそ語れるカウンター裏側の日常。	
VOL.	カフェのフードメニュー	03.01
02	舷灯、noa coffee and sandwich、Hokkaido かもめ食堂（ボイスメッセージ） カフェオーナーから寄せられたボイスメッセージ。心惹かれるメニューの裏側について、3名のオーナーに話を伺うエピソード。	
VOL.	自家焙煎ってお店にとって何なんだろう？	03.15
03	ONIYANMA BASE（ボイスメッセージ） 自家焙煎を掲げるお店の哲学と、札幌で増え続ける自家焙煎店の背景について、カウンター越しに語り合い。	
VOL.	居心地の正体	03.28
04	Ordinary オーナー・noyさん 見えないプレッシャーの中で自分の色を出し、新しい居心地を設計していく若き経営者の「覚悟」について、カウンター越しに静かに語り合い。	
VOL.	カップ&ソーサーの選択	04.14
05	和田硝子器店 オーナー・和田亜希子さん 「器を届ける人、器でサービスをする人、かつて雑貨店で器を見ていた人」という3つの視点から、札幌のカフェカルチャーの現在地を語り合い。	
VOL.	カフェとデザインの緊密な関係	04.26
06	土肥正人さん（土肥商店）、篠田愛香さん、佐藤美月さん（ボイスメッセージ） ロゴや看板だけでなく、空間・照明・動線・体験すべてが「設計」されているカフェについて。デザイナーたちが込めた思想をカウンター越しに語り合い。	
VOL.	Bean to Bar・チョコとコーヒーの関係	05.09
07	Bon Vivant オーナーパティシエ・久保健寛さん 2010年創業から15年の円山洋菓子店。フランス伝統菓子とBean to Barに取り組む久保さんとともに、カカオとコーヒーの源流から手をかける哲学を語り合い。	
VOL.	お店を拠点に、目指すこと	05.23
08	蔵人 - kuroudo 1974 - オーナー・佐藤玲奈さん 枯淡珈琲を離れての初収録。有名店から独立し、お店を営むふたりが、その経緯とこれからについてじっくり語り合い。	
VOL.	伝えたいことを伝えるための写真術	06.06
09	写真家・渡邊真弓さん（allo? 代表 / FUJIFILM公式Xphotographer） 「北海道カメラ女子の会」主催・会員600名超え。メニュー写真に悩むオーナーにも、写真と向き合う時間を豊かにしたい方にも聞いてほしいエピソード。	

02 EPISODES

Vol.10 — 18

器、写真、灯り、本、フィルム。
コーヒーの外側へ、話は広がっていきます。

VOL. 10	テーブルの大切なピース・お冷グラス 和田硝子器店 オーナー・和田亜希子さん カフェ写真から外れてしまう「お冷グラス」の存在意義から、木村硝子店の極薄タンブラーや廃ガラス再利用グラスまで、テーブルの“大切なピース”をめぐる話。	06.20
VOL. 11	バリスタとブリュワー 石川蒼さん（バリスタ） 「STANDARD COFFEE LAB.」退職後、フリーランスとして活動を始めた石川さん。高度な抽出技術と美しいラテアートの功績と、今後の未来について語り合い。	07.04
VOL. 12	カフェの空気を可視化するアート モビール作家・イラストレーター jobin.さん 空気に揺れて形を変えるモビール。枯淡珈琲の焙煎機をモチーフにした作品の設計と、カフェ空間で作品が果たす役割について語り合い。	07.18
VOL. 13	カフェに連れて行く本 鈴木謙太郎（映像ディレクター）× 川筋愛友（枯淡珈琲） ゲストなしの二人だけの回。それぞれが持ち寄った本をめぐって、コーヒーを片手に、言葉の速度を落とした時間をダラダラと語り合い。	08.01
VOL. 14	町を撮る、町に住もう 中村来実さん（長沼町地域おこし協力隊・写真／デザイン） 写真とデザインを通して暮らしながら町の魅力を発信する協力隊員。愛犬で辿り着いた大雪原、ブライダルから「暮らしながら撮る」への変化を語り合い。	08.15
VOL. 15	ロウソクを灯すという選択 池田佳那さん（キャンドル作家・カリグラファー／綴-TSUZURU-） ブランド「綴-TSUZURU-」の和ロウソク。素材を北海道産に徹底し、端材・玉ねぎ皮・藍・薪ストーブの煤で、役目を終えた恵みを灯りに変える手仕事。	08.29
VOL. 16	作品に宿る「優しさ」と「肯定感」 PEPIさん（イラストレーター・アーティスト） 精神科作業療法士から世界を巡る旅を経て、「あなたはここにいていい」と語りかける作品を描く。人からもらった愛情が消えず別の誰かへ渡って繋がっていく思想。	09.12
VOL. 17	ブレンドの哲学 ひの珈琲店 店主・焙煎士・平野一政さん 白石区の赤い建物で自家焙煎とネルドリップを続ける。飲む人が余計な考え事をしない時間そのものを目指すブレンド。中深煎り「汀」と深煎り「灯」の景色と哲学。	09.26
VOL. 18	フィルムカメラで記録できること 大江大さん（Inherit Camera 店主・中古カメラ専門店） 機動隊員からカメラの世界へ。現像を待つ時間、手間かける工程、粒子がランダムなフィルムの無段階な記録の豊かさ。出がらしコーヒーでフィルムを現像する実験まで。	10.10

03 FORMAT & MESSAGE

Every other Saturday, 8 a.m.

LENGTH

40-50分

番組形式

SCHEDULE

8:00 配信

隔週土曜日 朝

PLATFORM

Spotify,
Apple Podcast

他

MESSAGE メッセージ募集

あなたの声を、カウンターへ。

カフェオーナー、スタッフ

常連客、カフェ好きの皆さまからメッセージを募集しています。

MAIL

kentaro@platinamix.jp

SNS

#Sapporocafenotes

できればボイスメモなどで録音した「あなたの声」でお送りください。

04 AUDIENCE INSIGHTS

Listened to the very end.

ENGAGED LISTENERS

64%

熱心なリスナーの割合

リスナー152人のうち97人。
(Apple Podcasts)

LISTENING TIME

約 50 分

1人あたり平均視聴時間

40～50分の番組を、ほぼ最後まで。
(Spotify・2026年9月下旬)

COMPLETION

74%

エピソード完全再生率 最高

対話の空気感に最後まで深く没入している
リスナーが定着。(Spotify)

GROWTH / 表示回数

3.6 倍

Spotifyでの表示回数が、1ヶ月で3.6倍。
(2026年9月 第1週 → 最終週)

LISTENERS / リスナー分布

Sapporo × Tokyo

札幌と、東京を中心とした都市圏のリスナーが
大きなボリュームを占め、感度の高い層へ広くリーチ。
札幌・北海道エリアにおいても高密度なコミュニティを形成。

APPLE PODCASTS / ランキング

Top 50 総合

Apple Podcasts 総合ランキング TOP50入り。
「アート」カテゴリでも最高30位台を記録。
(2026年9月下旬～10月)

GOOGLE SEARCH / 検索

Top 上位維持

Google検索「札幌 ポッドキャスト」
「札幌 podcast」で上位を維持。(2026年10月時点)



SAPPORO CAFE NOTES

札幌の、カフェの空気と。

<https://platinamix.jp/sapporo-cafe-notes/>